

2024年度
自己点検・自己評価

学校法人 未来学園
高崎歯科衛生専門学校



1. 学校の教育目標

未来学園は医療、福祉分野に必要な専門的知識、技術、態度を養い、実践力を身につけると共に、人間愛を基礎とし、全人的なかかわりや援助、ケアが実践できる医療、福祉従事者を養成する。

教育方針に“**Learning Together Thinking Together**”を掲げ、教職員一同、医療、保健、福祉の発展のために学生と共に学び、共に考える教育を実践する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 教育活動

前年度同様に教育の質、学生サービスの向上を目的として、次の事項について重点的に教育活動を行った。

◇授業・実習内容の充実

- ・人間性教育・社会性教育の実践
- ・入学前教育プログラム・初年次教育の充実
- ・教育目標の明確化とキャリア教育
- ・国家試験対策

◇退学防止対策

◇教員研修の実施

(2) 学生募集活動

少子化をはじめ医療福祉系進学希望者の減少等により、年々厳しさを増しているが、定員確保に向けて次の事項について重点的に募集活動を行った。

◇広報媒体の活用

- ・学校ホームページ、パンフレットの活用
- ・SNS（Instagram）の活用
- ・進学情報サイトの活用

◇学生アプローチの充実

- ・学校のブランディング（企画やノベルティ等の作成）
- ・高校（会場）ガイダンスへの参加
- ・オープンキャンパス企画の充実
- ・AO、オンライン、別会場入試の実施

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 課題

- ・学生や保護者等の関係者に対する教育理念、育成人材像の周知徹底。
- ・変化する社会と進歩する歯科医療業界に対応できる人材像についての明確化。

② 今後の改善方策

- ・教職員一人ひとりが教育理念・目的を共有し、日々の教育活動の中で具現化していく。
- ・学生自身が卒業後の歯科衛生士人生をより明確に思い描けるよう、教育方針や育成人材像について、授業や実習をとおして繰り返し周知していく。
- ・変化する社会や業界のニーズを的確に把握し、これからの社会に必要とされる人材像を明確化する。
- ・広報活動において、教育理念や方針について積極的に発信していく。

③ 特記事項

特になし。

(2). 学校運営

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 課題

- ・ 組織としての業務遂行
- ・ 教職員ソフトウェアにおける各種規則・規程掲載、共有化。

② 今後の改善方策

- ・ 業務を整理し効率化を図る。
- ・ 個人間、学年間等、報告・連絡・相談を機能化させ、組織単位で目標を達成できるように、業務内容やプロセスを共有化する。
- ・ ホームページやSNS等を活用しながら、引き続き学校の取組を具体的に発信していく。

③ 特記事項

特になし。

(3)．教育活動

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1

・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1
-------------------------	---	---	---	---

① 課題

- ・教育内容、学習内容を充実させ、他校との差別化を図る。
- ・教員の指導力向上のための学内研修の充実。

② 今後の改善方策

- ・業界動向を踏まえ、社会のニーズの応じた教育内容を具体化していく。
- ・学内研修を定期的を開催するとともに、学外の研修への参加機会を確保していく。
- ・授業評価アンケートと授業参観後のフィードバックを充実させ、教員の指導力の向上と教育活動の充実を図る。
- ・入学前教育や初年度教育を見直し、専門教育に対する心構えや学習意欲の向上に努める。

③ 特記事項

- ・ＩＣＴ機器の有効な活用について検討するとともに、研修等により教員のＩＣＴ活用能力の向上を図った。
- ・学内の充実した教育機器等を効果的に活用し、より効果的実践的な教育を行うことができるようになった。
- ・入学前教育の一環として、入学前に登校日を設け、新入生に対する学習や生活支援等を強化した。成果を確認のうえ、次年度へ継続していくことを検討していきたい。

(4)．学修成果

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 課題

- ・国家試験合格率を上げること。
- ・学生の退学者を抑えていくこと。
- ・卒業生の活動状況の把握。

② 今後の改善方策

- ・学生一人一人に寄り添い、国家試験対策用ソフトなども有効活用しながら、計画的に国家試験対策を進め、合格率の向上を図る。
- ・2024年度より導入した予備校講師による国家試験セミナー実施を継続し、国家試験対策の更なる充実を図る。
- ・保護者と連携しながら、生活と学業両面のきめ細やかなサポートを充実させることで退学者の減少を図る。
- ・卒業生の状況を把握するために、卒業生とコミュニケーションを取れる仕組みを構築する。

③ 特記事項

特になし

(5). 学生支援

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 課題

- ・経済的理由で学業を継続できない学生の解消。
- ・心身ともに悩みを抱えた学生に対する相談機能の充実。

② 今後の改善方策

- ・高等教育修学支援新制度の対象機関としての経済的な支援方法の確実な周知。
- ・あいさつや声かけをこまめに行いながら、心身の不調や学習不適応等に早期から対応していく。特に、入学当初や長期休業明けを中心に、学生の不安や学校不適応への対応ができるよう個別相談等の機会を増やしていく。
- ・保護者と連携しながら、生活と学業両面のきめ細やかなサポートを充実させる。

③ 特記事項

- ・2024年度より、本校専用の求人情報特設サイトを開設した。学生は、スマートフォンからいつでも幅広い求人情報へアクセスが可能となり、効率的な就職活動ができるようになった。

(6). 教育環境

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- ・最新の施設・設備の最大限の活用。
- ・学生の学習満足度の向上。

② 今後の改善方策

- ・最新の施設・設備を効果的な活用方法や具体的な事例について学内で共有する。
- ・先端の歯科医療を学べる臨床実習先を増やし、学外実習の質的向上を図る。

③ 特記事項

- ・防災に対する意識が薄れぬよう、全学生・教職員を対象に、より実践的な防災教育と訓練を実施し、防災に対する意識を対応力の向上を図る。

(7). 学生の受入れ募集

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 課題

- ・高校の進路指導における大学進学意識の高まり。
- ・学生募集のための広報活動等の検討。

② 今後の改善方策

- ・SNS等を活用した、本校の特色ある教育活動の発信。
- ・統計に基づく募集活動エリアの拡大。
- ・小中学生対象の職業ガイダンス等、歯科衛生士の職業的な魅力発信のためのキャリア教育の授業支援。
- ・ロビー開放等の研究。

③ 特記事項

- ・卒業生や在校生からの紹介など、口コミにより学校見学希望者が増加傾向にある。
- ・市内の中学校にて、職業を学ぶ授業で歯科衛生士の仕事とやりがいをテーマとした講話を実施した。

(8). 財務

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 課題

- ・財務情報公開の体制整備。

② 今後の改善方策

- ・長期的に安定した運営を行えるよう中長期的な経営計画を策定する。

③ 特記事項

特になし。

(9). 法令等の遵守

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 課題

- ・個人情報の保護の徹底
- ・自己点検・評価の内容についての具体的なフィードバック。

② 今後の改善方策

- ・個人情報の取り扱いマニュアルの検討
- ・自己点検・評価内容について、学内で共通認識を持ち、課題の解決を行う組織体制を構築する。

③ 特記事項

特になし。

(10). 社会貢献・地域貢献

評 価 項 目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 課題

- ・地域貢献やボランティア活動の実施。

② 今後の改善方策

- ・近隣住民や関係団体から学内施設の利用希望の声をいただいているので、積極的に開放していくことで地域貢献を推進していきたい。
- ・ボランティア活動の意義についてより理解させて興味を持たせることで、積極的に参加する学生を増やす。

③ 特記事項

- ・関係団体2施設より依頼を受け、セミナー会場としての貸し出しを実施した。

(11). 国際交流

評価項目	適切… 4、ほぼ適切… 3、 やや不適切… 2、不適切… 1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

- ・留学生対応に向けてのサポート体制の構築。

② 今後の改善方策

- ・国家試験や就職に向けて語学力の課題こそあるが、入学希望者を受け入れられるように体制の整備に努めたい。

③ 特記事項

- ・留学生のサポートは、担当部署の留学生センター内に語学堪能な職員を配置している。
- ・国際交流の一環でカンボジアにある日本語学校とのオンライン交流を継続している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

文部科学省から提示されている学校評価ガイドラインに沿い、自己点検・自己評価を実施した。学校運営を教育面、募集面、財務面等、様々な観点から見ることができた。

入学対象年齢の学生数の減少に伴い、学生の確保は今後の大きな課題となる。少子化の中で、大学の進学を考える学生の割合が増得ている。専門学校は、その特色を全面に出し、他校との差別化を図る必要があると考える。

本校の特色は、最新の施設・設備と実践的なカリキュラム、そして、きめ細やかな指導である。

新校舎にリニューアルをし、最新の施設・設備を整え、それに合わせた、より実践的な内容に変更したカリキュラムでの教育活動が2年目を迎えた。I C T機器やデジタル教材は、今まで学びにくくわかりにくい分野の学びが広がり、学習支援に大きな成果を上げていることは間違いない。併せて、実際の現場で働く歯科衛生士を指導者として招くことにより、映像ではとらえきれない、より実践的な技術指導を学生一人一人に対してきめ細かく実施している。本校教員も含め、技術指導の充実が本校の強みの一つである。また、技術指導の過程の様々なやり取りの中で、医療人としての大切な人間教育も行われている点も見逃すことはできない。そのほかにも、複数のアプリを使用しながら、患者目線にも立った、現場で生きる知識の習得のために、タブレットを有効活用している。これらの教育すべてが、卒業後、歯科医療現場で即戦力となり、活躍できることが期待できる。

学生の募集活動についても、こうした強みを生かしていきたい。本校を知るきっかけが卒業生や在校生からの紹介であること。それが学校見学や入学につながっていることも少なくないことから、在校生に対する誠実な教育を地道に継続していくことが最大の募集活動であると考えている。本校の教育活動の質を高めることで、学校のブランド力を上げ外部に発信し、より意欲の高い学生を獲得すべく、今後の学生募集活動の改善・充実に役立てたい。

資格取得においては全国平均を下回る結果となった。その要因を明確にし、今後の指導に生かしていきたい。併せて、退学率を減少させるべく、学生が抱える不安や悩みに早い段階から対応し、3年間の学びの中で卒業後の未来を学生自身が思い描けるために、人間性教育やキャリア教育にも注力していく。

高い専門性と豊かな人間性を持ち、自律した歯科衛生士を養成するために、今後も引き続きガイドラインを参考にしながら自己点検・自己評価を行っていくことで、浮上した課題について検討と改善を重ね、適正な学校運営を行っていきたい。

以上